

新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)活用事業評価書

事業名	いばらきサイクルツーリズム推進強化事業（令和3年度～令和7年度）							
交付金	新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金) 補助率1/2 R7総事業費:1,551,000円 交付確定額:775,000円							
総合戦略	時代にあった地域の創造戦略							
事業概要	官民連携の協議会を新たに組織し、サイクルツーリズムへの機運が醸成されている県北及び県央の市町村において、訪れた人がサイクリングを通じて地域を周遊するための仕組みづくりや、地域のファンとなって複数回訪れたくなるような魅力ある資源の掘り起こしを実施するとともに、サイクルツーリズムに係る情報発信を強力に実施し、県や協議会の取組と連携しながら、地域の消費拡大及び移住・定住の促進を図る。							
取組み	地方創生交付金を活用し、市内を訪れるサイクリストに向けた、おもてなしや市民の日常使いにおける自転車の活用推進を促すために、サイクルラック・工具・空気入れを備えたサイクルサポートステーション8か所を新設した(備品未設置含む)。 また、昨年度に引き続き、JR東日本水戸支社と連携した期間型のイベント「駅からサイクリング」によるデジタルスタンプラリーや、いばらきサイクリング協会による「ハーフセンチュリーいばらきサイクリング大会」の実施、奥久慈里山ヒルクライムルート利活用推進協議会によるOkukuji「X」 Ride&Trailへの参加、東白川サイクリング推進会議が実施した「サイクルロゲイニングin奥久慈」を後援し、サイクリングを通してサイクリストと市特産品等を結び付け、当市の魅力に触れてもらう機会を創出するとともに、那珂市の特産品や魅力を発信した。 また、新たな取り組みとして、未就学児向けの「こども自転車乗り方教室」を主催し、幼少期から自転車に親しむ機会を創出した。							
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		事業前	R3	R4	R5	R6	R7
	指標①	市内サイクリングイベント参加者数(各年)	170 (人)	300 430	300 364	300 270	400 409	400 334
	指標②	サイクリストへの協力店舗(累計)	10 (箇所)	15 18	20 27	25 31	25 32	25 38
	上段:目標値 下段:実績値	指標③	市民の日常生活における自転車利用率(各年)	15.8 (%)	23.0% 15.8%	23.0% 12.0%	23.0% 14.7%	27.0% 13.7%
今後の方針	自転車を利用する上での通行空間の環境整備やサポートステーションを拡充し、市民及び来訪者が積極的に自転車を利用するまちづくりを目指していく。 サイクリングイベントについては、より多くの方に那珂市に来訪してもらうため、引き続き期間型イベントの企画を検討するとともに、「ハーフセンチュリーいばらきサイクリング大会」の改善及び継続的な取り組みにより、那珂市の魅力や特産品の周知に努め、より多くのサイクリストに那珂市を走行してもらうきっかけとしたい。 また、令和10年に予定されている道の駅開業を見据え、来訪者の周遊促進と再訪につながる導線づくりを進めることで、新規サイクリストの掘り起こし、地域内周遊の促進と地域消費の拡大を図っていく。 令和7年度に新たに取り組みを始めた未就学児向けの自転車乗り方教室は、各回定員を超える申し込みをいただいていることから、今後も継続的に実施し幼少期から自転車に親しむ機会を創出するほか、保護者向けに自転車の安全な乗り方を指導するプログラムも新たに設けることで、更なる自転車の利用促進・安全運転啓発を行っていく。							
有識者による 意見	事業評価							

新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)活用事業評価書

事業名	アグリビジネス推進事業（令和3年度～令和7年度）							
交付金	新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金) 補助率1/2 R7総事業費:3,816,512円 交付確定額:1,908,256円							
総合戦略	安定した雇用の創出戦略							
事業概要	儲かる農業を目指して営農活動を行っている担い手の所得向上を支援するほか、那珂市農産物の魅力を発信して需要を喚起し、農業が儲かる就業先として認知度を高めることで新規就農者の確保を推進し、遊休農地の解消、農業分野からの地域活性化を促進するための事業を展開する。 ・6次産業化の推進 ・地産地消と農商工連携 ・販売戦略構築・情報発信							
取組み	「第2期那珂市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において立ち上げた「農業で稼ぐ いい那珂プロジェクト」を具体化するために策定した那珂市アグリビジネス戦略を基に事業を展開する。 ①農業の収益力向上 ・那珂市産農畜産物の付加価値の向上促進に向けたブランド化、6次産業化等の支援 ・地産地消、地産外消に向けた販路拡大支援、那珂市産農畜産物のPR ②担い手の育成支援 ・那珂市農業担い手確保・育成協議会MIRAIでの就農準備資金を活用した就農希望者研修実施 ・新農業フェア等の新規就農希望者への相談、研修案内等							
重要業績評価指標(KPI)	指標		事業前	R3	R4	R5	R6	R7
	指標①	新規就農者数(各年)	0 (人)	1	3	3	3	3
				1	3	9	7	4
	指標②	農産物の売上高(各年)	330,000 (千円)	335,000	340,000	345,000	355,000	365,000
				336,370	378,370	354,467	368,359	356,757
上段：目標値 下段：実績値	指標③	新規取引件数(累計)	0 (箇所)	1	3	5	10	15
				5	18	24	32	39
今後の方針	「第2期那珂市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において立ち上げた「農業で稼ぐ いい那珂プロジェクト」を具体化するために策定した那珂市アグリビジネス戦略を基に事業を展開した。 ①農業の収益力向上として ・那珂市産農畜産物を使用した新商品開発に向けた「うまいもんづくりプロジェクト」の継続 ・農商工連携事業として、市内生産者と実需者との連携イベント(農畜産物のマッチングイベントなど)を開催 ・市内農畜産物及び開発製品のテストマーケティング、パッケージデザイン等の作成支援を実施 ②担い手の育成支援として ・那珂市農業担い手確保・育成協議会MIRAIを中心としたワークショップ開催 ・新規就農希望者への相談会、就農準備資金を活用した研修生受け入れの拡大							
有識者による意見	事業評価							

新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)活用事業評価書

事業名	新たな価値を創造するデジタル技術を活用した持続可能な産業バリューチェーン強化推進事業（令和6年度～令和8年度）					
交付金	新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金) 補助率1/2 R7総事業費:21,911,120円 交付確定額:10,955,560円					
総合戦略	安定した雇用の創出戦略					
事業概要	那珂市の充実した農業資源を活かし、ICT等のデジタル技術を導入した農業を推進することで、農業の生産性及び収益性の向上、新たな担い手確保につながる魅力ある産業振興の好循環を目指すものである。 デジタル技術の導入については、専門家の派遣等や生産・販売・消費の一連の流れの構築をサポートする。また、3年間の事業期間を通して、直売所、生産者、実需者がICTやAI等を活用したほ場管理や受注予測、受発注流通システムなどのデジタル技術を導入することで、生産、販売、消費の現状を把握し、その情報を基に連携したトライアルの実施及び農産物のブランド化を進め、3年目には、マーケット拡大に向けた販路開拓を図り、生産性及び収益性を高める。					
取組み	◆販売体制の整備 ・那珂市内の直売所における供給、販売等のBIGデータを活用し、必要な商品を必要な時に必要な分だけ供給するための情報を取得し把握した情報を基に、販売予測AIによって、農産物の廃棄を低減及び収益性の高い供給体制を構築する。 ・生産者、直売所、実需者をつなぐICTを活用した受発注システムを導入し、安定的な流通システムを構築するためのトライアル及びサポートの実施。 ◆生産性の拡大 ・スタートアップ企業が作成したAIほ場管理システムを市内生産者に導入し、ほ場管理の効率化、省力化につなげ、経営面積拡大を図る。管理ほ場におけるシステムの実証実験を行い、デジタル技術導入を検討する経営体のサポートを図る。 ◆農産物のブランド化 ・ブランドコンセプト作成に向け、生産者、有識者、流通関係者、一般消費者等で構成するワークショップを開催し、多角的なニーズを基に販路拡大につながるキービジュアルデザイン等を作成する。 ・マッチングイベント及びECサイト、SNS等を活用したプロモーションやマーケティングを実施し、魅力ある農産物の情報発信により、生産者と実需者をつなげ、農産物の販路拡大を図る。					
重要業績 評価指標 (KPI) 上段:目標値 下段:実績値	指標		事業前	R6	R7	R8
	指標①	地域における農林水産出荷額(各年)	0 (千円)	379,170 358,359	382,370 356,757	390,770
	指標②	デジタル技術導入経営体数(各年)	0 (経営体)	10 60	10 10	15
	指標③	デジタル技術を導入した経営体あたりの増加経営面積(累計)	0 (a)	5 0	15 44	30
今後の方針	令和6年度に導入したAI需要予測システム「アグリアスエ」については、現状2か所の直売所にて60名の生産者が登録済み。システム利用者は売上増加の実績が出ているため、利用者の拡大を図るべく、システムの活用に係る説明会の実施を実施する。 令和7年度に開始した、直売所の受発注システム「TANOMU」を活用した生産者～直売所～実需者への輸送トライアル事業については、出荷農畜産物の安定化及び新規契約先を増加させ、収益の拡大を図るとともに、那珂市の農畜産物のPR機会を確保する。 生産から流通まで、各段階でデジタル技術を活用し、効率的な農業経営を図るとともに、新たな就農者の販路確保、既存の農家の所得向上のための施策を図る。					
有識者による 意見	事業評価					